Vol.20

尊厳をもってその人らしく生きていく社会を目指して

デイケアニュース

cover photo : Makoto KATOH

- message：安藤高夫大会長
- event preview：第46回全国デイ・ケア研究大会2023 in 八王子
- voice：活動と参加してみた！ 認定デイ・ケアマスターの声
- topics：在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース
- new series：すぽっと・らいと ～あなたの職場のプロフェッショナル～
- 会員施設紹介：医療法人社団北樹会病院 つきさっぷ通所リハビリ

一般社団法人全国デイ・ケア協会
Japan Association for Day Care

地域包括ケアシステム構築に向けて「デイ・ケア」のあり方を皆さんと共に考える機会をいただけた。

第46回全国デイ・ケア研究大会2023in八王子　大会長
医療法人社団永生会　理事長
安藤 高夫

このたび『第46回全国デイ・ケア研究大会2023in八王子』を、2023年7月21日（金）～7月22日（土）の2日間にわたり、東京都八王子市にて開催いたしました。

開催の話は2019年に本大会の主催となる全国デイ・ケア協会の近藤国嗣会長より打診を受けました。八王子では全国規模の大会の開催は稀であり、会場確保に悩む中、今回の会場となる東京たま未来メッセが2022年10月に完成することとなり、新会場を用いて皆様を迎えることができました。

2024年度は介護報酬と診療報酬、さらには障害福祉サービスの報酬のトリプル改定があります。団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に構築されてきた地域包括ケアシステムを完成させるとともに、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年に向けての第一歩となる重要な改定となります。この中で私たちは地域包括ケアシステムを推進する重要なハブとなるため、医療・介護・障害サービスのさらなる連携を進め、地域と共に歩み、地域にとって必要なサービスを提供する事が我々の使命と考えておりました。

そこで今回の大会のテーマには「地産地消」という言葉を掲げました。これは各々の地域に合わせて生み出された介護サービスと、その地域で暮らす高齢者が、目的に合わせてデイ・ケアを活用し、そこで想い出を紡ぎ、できる限り住み慣れた場所で生活を続ける、そのための『デイ・ケア』のあり方を皆さんと共に考える場としての大会にしたいと考えました。

また本大会をリアルにするかハイブリッドにするか、開催形式については非常に悩みました。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げとなったこと、またみなさまに八王子に足を運んでいただき、対面での活発な議論の場を提供したい想いも含め、現地でのリアル開催を主体（一部講演をオンデマンド配信）という形をとりました。

会場では協会長の講演他特別講演3講演、教育講演3演題、シンポジウムを行い、協会からは老健事業の報告や協会特別シンポジウム、大会としては新たに公募セッションというセッションを会員から公募し提供するという試みも行うことができました。そして一般演題は87の演題登録があり、口述発表、ポスター発表ともに多くの方々に聴講いただきました。今回の会場では市民公開講座以外にも、一般市民に企業展示エリアを開放するというこれまでにない形を試み、地域の方々へ研究大会の存在や本大会に関連する多くの企業の存在を広く周知することができました。

参加された皆様方が、本大会の各種講演やシンポジウムの内容、口述・ポスター発表における全国での取り組みを参考にして、ご自身の地域に合わせて、今後どのようなサービスを提供すべきかを振り返る場になれば幸いです。

最後にこのような全国規模の学術大会を開催するという貴重な機会をいただいた近藤国嗣会長をはじめ、大会準備にあたりご支援を頂いた全国デイ・ケア協会の事務局及び前大会の主管である医療法人鴻池会、ならびに本大会に参加登録をされた皆様のお力により、無事閉会することができましたことに感謝いたします。本当にありがとうございました。

次回大会は札幌での開催となります。改定後の介護保険サービスにどう向き合い、デイ・ケアを運営すべきかを含め、北の大地で皆様と議論できることを願っております。

知的好奇心は止まらない。止めてはいけない。

JADCがお贈りする研修会。今年度後半も充実の研修会スケジュール。

当会では様々な研修会を企画しております。下記スケジュールをご確認の上、ご希望の研修会にお申し込みください。

JADC EVENT SCHEDULE

開催日		研修会	開催地・開催方法
10月	6日(金)～8日(日)	在宅リハEGコース②	オンライン開催
	26日(木)～27日(金)	リハビリテーション・ケア合同研究大会　広島2023 (◎当協会主催シンポジウム)	広島国際会議場
11月	18日(土)～19日(日)	生活行為向上リハビリテーション研修会	オンライン開催
12月	1日(金)～3日(日)	在宅リハEGコース③	オンライン開催
	10日(日)	明日から使える！初めての通所リハ実践研修会	
1月	13日(土)	状態別対応セミナー　介護予防編	オンライン開催
	14日(日)	状態別対応セミナー　中重度者編	
2月	24日(土)～25日(日)	生活行為向上リハビリテーション研修会	オンライン開催
3月	1日(金)～3日(日)	在宅リハEGコース④	東京開催
	23日(土)	第11回デイ・ケアスキルアップセミナー	オンライン開催
	24日(日)	介護報酬改定セミナー	

要注目

会員限定

ON DEMAND

会員向け無料教育セミナー定期配信中

全国デイ・ケア協会では、会員限定にオンデマンド配信による教育セミナーを開催しています。第11弾は「通所リハで役立つコミュニケーションスキル」、第12弾は「介護老人保健施設における通所リハの在り方」を開催しました。視聴者アンケートからは大変好評をいただいています。本セミナーが会員の皆様のお役に立てますと幸いです。

会員向け無料教育セミナー　配信スケジュール

令和5年	9～10月配信	経営的視点からみる在宅リハ事業
	11～12月配信	職場におけるハラスメント対策について
令和6年	1～2月配信	テーマ未定
	3～4月配信	通所リハビリテーションとかかりつけ医の連携

第46回 全国デイ・ケア研究大会2023 in 八王子

コロナ禍が我々の生活に変化をもたらし、既にそれにも適応しながら、新しい生活様式が自然に感じられるようになった。専門職として研鑽を積む研究大会も徐々に新しい形を成しつつある。第46回全国デイ・ケア研究大会2023in八王子は新型コロナウイルス感染症が5類に移行後初の開催であり、学びを求めて多くの参加者が現地に詰めかけた。

橋本 茂樹副会長

長谷川 幹顧問

ポスター発表の様子

土井 勝幸副会長

開会式

多良実行委員長により開会が宣言され、大会は幕を開けた。開会式では、安藤大会長による八王子開催の誇りとデイ・ケアに対する情熱が表現され、次いで近藤国嗣会長が、制度改定を前に開催される本大会の重要性について述べた。開会式の最後には高尾山のホラ貝の響きにのせ、いよいよ大会講演に移っていった。

多良 淳二　実行委員長／全国デイ・ケア協会 理事

大会長講演

安藤大会長による大会長講演は、「デイ・ケア・ジャパン～デイケアによる、街づくり・人づくり・想い出づくり～」と題し、「自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、どのようなリハビリテーションを提供するかが、地域に密着したデイ・ケアの腕の見せ所である」と述べた。

安藤 高夫　医療法人社団永生会　理事長

協会長講演

続いて近藤会長による協会長講演は、「デイ・ケアのこれまでとこれから」と題し、限られた提供時間のなかで、リハビリテーション職にしかできない効果的な訓練の実施と、介護職員や家族、自主訓練などを織り交ぜながら効率的に課題を解決する重要性＝リハビリテーションマネジメントの意義について触れ、そのうえで今後の制度改定に向けたあり方を述べた。

近藤 国嗣　全国デイ・ケア協会 会長

特別講演

江澤 和彦
日本医師会 常任理事

川越 雅弘
埼玉県立大学大学院／
研究開発センター 教授

特別講演では、江澤和彦氏（日本医師会　常任理事）による「診療報酬、介護報酬同時改定に向けたデイ・ケアの備え」と川越雅弘氏（埼玉県立大学大学院/研究開発センター　教授）による「地域包括ケアの深化/地域共生社会に対応した通所系サービスに期待すること」が行われた。デイ・ケアで算定可能な各種加算の算定状況や次回改定の情報に加え、通所系サービスが取り組むべき課題やケアマネジメントの重要性、役割などについて丁寧に解説された。

教育講演

荒井 秀典
国立長寿医療研究センター 理事長

山口 晴保
群馬大学 名誉教授

安全感染対策委員会によるシンポジウム

教育講演では当協会の安全感染対策委員会による「送迎業務における安全感染対策」に関するシンポジウムや荒井秀典氏（国立研究開発法人　国立長寿医療研究センター　理事長）による「我が国の科学的介護の現状と将来展望」、山口晴保氏（群馬大学　名誉教授）による「通所サービスにおける認知症ケア～本人・家族・スタッフがウェルビーイングに～」が講演された。いずれもデイ・ケアに今後も欠かせないサービスに関わる内容で、多くの質疑がやり取りされていた。

シンポジウム

当協会の研修認定委員会によるシンポジウム「認定デイ・ケアマスター、在宅リハEGコースを語ろう」では在宅リハEGコース修了者がシンポジストとして3名登壇し、ディスカッションを行った。認定デイ・ケアマスターとは、当協会が認定する制度である。質の高いデイケアサービスを提供する目的と併せ、地域リハビリテーションの普及・啓発に取り組むことができる人材育成に取り組んでおり、在宅リハEGコース修了者による実践の報告を行うことで聴講者からも関心の声が聞かれることとなった。

（右から）
谷口 貴子　西宮協立デイケアセンターほほえみ
赤間 優　札幌渓仁会リハビリテーション病院
塩原 大輝　霞ヶ関中央クリニック

一般演題では活動と参加に焦点をあてた症例報告や取り組み報告が多く聞かれるようになり、昨今の社会的なニーズに各事業所が様々な工夫を凝らしていることがわかり、聴講者との活発な議論が交わされていた。

今大会は医療・介護報酬同時改定前年であり関心の高い大会であったため、2日間で1000人以上の来場者を記録した。講演内容も次期改定を考慮した内容が多く、熱心にメモを取る聴講者も散見された。また、一般演題からは他施設の取り組みに多くの刺激を受け、自施設運営の参考にし、利用者に還元したいと思わせられることとなった。オンラインでの研修が増えていく中、学会こそ対面で行う意義を再確認できる大会であったと思う。

第48回 全国デイ・ケア研究大会 2024
in 札幌・北海道

Be ambitious!
一歩先へ

デイケア再興

～'24年度同時改定を力に変えるために～

大会長 **橋本 茂樹** 札幌渓仁会リハビリテーション病院 院長

2024年6月28日(金)/29日(土)

会　場 **かでる 2·7**(北海道立道民活動センター)

北海道札幌市中央区北2条西7丁目

JR札幌駅南口：徒歩13分

札幌市営地下鉄
さっぽろ駅（10番出口）：徒歩9分
大通駅（2番出口）：徒歩11分
西11丁目駅（4番出口）：徒歩11分

主　　催　**一般社団法人　全国デイ・ケア協会**

大会事務局　**医療法人渓仁会　札幌渓仁会リハビリテーション病院**

〒060-0010 北海道札幌市中央区北10条西17丁目36-13
TEL (011) 640-7012 / FAX (011) 640-5083

実行委員長　佐藤 義文

団塊の世代が75歳を超える2025年。超高齢化が加速。
2024年4月医療・介護同時改定。
この同時改定を今後の力に変えるため札幌で共に学び、
知恵を出し合い、新たな大志をもって、一歩先へ歩もう！
そして
Enjoy　札幌・北海道！満足感と大志を持ち帰ろう！

大会長　橋本 茂樹

Japan Association for Day Care

リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島 2023

リハビリテーション・ケア合同研究大会広島2023の開催まで間もなくとなりました。新型コロナウイルス感染症が拡大してから、本大会としては初めての現地会場のみで開催となります。既に多くの一般演題が登録されていることから、活発な意見交換と学びの共有がなされることと思い、胸が膨らむばかりです。当会のシンポジウムは、令和4年度老人保健健康増進等事業「生活期リハビリテーションにおける適切なアウトカムの評価の在り方に関する調査研究事業」の報告を軸に、令和6年度介護報酬改定を見据えた企画をご用意しました。広島で皆様と一緒に先を見据えたお話ができますことを、心より楽しみにしております。まだ参加登録前という方は、是非ご参加をご検討いただけますと幸いです。

大会名　リハビリテーション・ケア合同研究大会　広島 2023

テーマ　Enjoy your Life! ～参加を育む、だから攻めようリハビリテーション～

会　期　**2023年10月26日(木)～27日(金)**

会　場　**広島国際会議場** 〒730-0811 広島県広島市中区中島町 1-5（平和記念公園内）

大会長　**天野　純子**（医療法人ハートフル アマノリハビリテーション病院 理事長）

主催シンポジウムのご案内

テーマ【調査研究事業からみる令和6年度介護報酬改定の動向】

介護保険を取り巻く背景の中で、異次元の少子化に対する方策とあわせて、85歳以上の人口比率の増加と、介護保険サービス受給者の急増による社会保障費の見直しが喫緊の課題となっています。その介護保険の基本理念である「自立支援・重度化防止」に資する生活期リハビリテーションにおいても、次期介護報酬改定に向けて、より効果的で効率的なサービスの在り方が議論されています。

通所・訪問リハビリテーションでは、2006年に「リハビリテーションマネジメント」が導入され、その更なる推進に向け、改定ごと内容を深化させてきましたが、とりわけ2015年度改定では、「活動と参加に焦点を当てたリハビリテーションの推進」が位置づけられ、SPDCAサイクルを重視した取り組みが求められるようになりました。

また通所リハビリテーションは、前回の介護報酬改定に関する審議報告にて、アウトカムの具体的な評価方法について科学的な妥当性を前提に引き続き検討し、それを踏まえて、ストラクチャー、プロセス、アウトカム評価を組み合わせた総合的な評価方法について検討していくべきとの課題が示されました。

これらを踏まえ全国デイ・ケア協会が2021年度実施した、「生活期リハビリテーションにおける適切なアウトカムの評価の在り方に関する調査研究事業（老人保健健康増進等事業）」においては、アウトカムは生活期リハビリテーションが本来果たすべき役割である「どれだけ在宅生活を維持できているか」、「自立支援・重度化防止にどれだけ寄与できているか」という観点を踏まえ検討すべきという取りまとめを行いました。

そこで、全国デイ・ケア協会のパネルディスカッションでは、2022年度に本会が実施した、「生活期リハビリテーションにおける適切な評価の在り方に関する調査研究事業（老人保健健康増進等事業）」の結果を踏まえ、本事業に参加したパネラーより次回の報酬改定も見据えた提言を行っていただく予定です。本パネルディスカッションでは、次回の報酬改定の動向のみならず、通所リハビリテーションに求められる今後の役割をお示しするとともに、根拠に基づいた介護サービスの実践ならびに今後の効果的な事業運営に資する提言も行えるものと考えています。多くの皆様にご参加いただけますと幸いです。

https://www.facebook.com/daycare.jp/

活動×参加

今回の活動と参加してみた！には、第46回全国デイ・ケア研究大会2023in八王子、状態別対応セミナー、リハマネジメント研修会にご参加された3名にご登場いただきました。様々な場で多くの発見や学びが感じられています。是非3名の熱い想いをご一読ください。

活動と参加してみた！

@ 第46回全国デイ・ケア研究大会2023in八王子

今回、初めて、デイ・ケア大会に参加させて頂きました。様々な講演を聴く中で「通所サービスにおける認知症ケア」という講演を聞く機会がありました。

講演では認知症の基本的な知識から自宅、通所での関わり方をどのようにしていくのか具体的なアプローチの方法を分かり易く捉え、知識を再認識する機会になりました。

認知症の利用者様のキャラクターを捉え、利用者様の歴史を知る事で「その人らしさ」を引き出しながら、その人の能力をどう生かしていくのかを具体的に多職種と連携し共有することで、通所内での役割の構築や集団参加を促す事が必要だと感じました。また、如何にしてポジティブな感情を引き出すのかという面でも情報収集が必要な事を再認識することが出来ました。

今の通所リハでは身体機能的な課題を持っている方と認知症の方が半分ずついる様な状況です。しかし、運動機能面の方はご自身から取り組むことが出来ているが、自分から取り組むことが難しい認知症の利用者様が一人でいる場面もみられ、リハ職の情報収集の不十分さや多職種での支援や関わりが不足している事で役割や他利用者様との交流が少なくなっているのではないかと思いました。今回の講演を通し、利用者様のキャラクターを捉えた上でその人の歴史を含めた情報収集、評価を行うことで今まで以上に楽しく運動や活動を行うことで、在宅生活を継続出来ると感じました。また、その人らしさを活かす為の多職種、他部署との連携の必要さも学ぶ機会になりました。今回学んだことや感じたことを意識し、当施設の職員と共有して取り組んでいきたいと思います。

介護老人保健施設せんだんの丘
作業療法士 藤巻 慶至

活動と参加してみた！

@ 状態別対応セミナー　介護予防編／中重度者編

私は大分県大分市にある通所リハ事業所で介護職員として働いて9年目になります。今回2日間とも研修に参加させて頂き、その中で特に印象的だった部分が、栄養と口腔機能の重要性に着目されていた事です。

この2つの要素が欠けていくと運動機能の向上を図っていても栄養が足りず思ったような効果がでず、また口腔機能が低下すると栄養自体が摂りにくくなると言われている事を頻繁に取り上げられていました。対象者の重度化を予防する上でもいかに重要なのか再認識させられました。

次に、個人的に気になっていた部分でもある軽度者の目標達成後にどのようにしてご利用を修了しているのかについてです。軽度者の方のご利用開始前の時点から目標を明確にして修了後の事を見据えた話し合いや目標のすり合わせをご利用者様、ご家族様、ケアマネジャーとどれだけしっかりとできるかが大事になって来ると思いました。他にも利用開始前に興味関心チェックシートやその他のチェックシートを用いて介護視点から考えられる目標を担当チームで協議できのではと思い、とても考えさせられる研修になりました。

坂ノ市リハビリテーションセンターもみの木
介護福祉士 黒川 翔太郎

活動と参加してみた！

@ リハマネジメント研修会

今回、全国デイ・ケア研究大会2023in八王子の前日に同会場にて行われたリハマネジメント研修会に参加させていただきました。日頃、私は（病院併設の）介護老人保健施設のデイケアでリハビリ業務をしています。令和3年度の介護報酬改定により変更になったリハマネジメントについては悩むことが多くありました。研修では、まずは現在の医療、介護を取り巻く課題から今後高齢者の生活においてさらに必要とされるサービスやリハビリの役割を考えることができました。特に、リハマネジメントはリハビリ職の専門性だけでなく、多職種、また利用者様、ご家族とも協働し、解決すべき生活課題について取り組み、機能回復のみではなく活動、参加に繋げることが必要だと改めて学びました。

また演習の「通所リハビリテーション計画の検討」ではグループワークで他事業所の方々とリハビリ計画書作成し、リハビリ評価や目標設定について意見交換することができとても有意義でした。

今回の研修を受けてデイケアの専門性をまずは自分自身で再確認できました。しかし日頃の業務ではリハマネジメント加算やリハビリ会議については課題が多く、現在の問題点や改善点など今回の研修で学んだことを活かし、多職種協働して改善していきたいと思います。

介護老人保健施設　イマジン
理学療法士 三井 奈々乃

すぽっと・らいと

～あなたの職場のプロフェッショナル～

通所リハではリハビリスタッフ、看護師、介護職など様々なスタッフを中心にサービスを提供しております。本誌では今号より新たな企画として、通所リハで活躍している様々なスタッフを紹介していきます。

初回はせんだんの丘通所リハビリテーションを力強く支えてくれているスタッフにスポットライトをあてて、介護助手の「早坂理恵」さんに、お話を伺いました。

せんだんの丘通所リハビリテーション
介護助手 **早坂 理恵さん**

委員　今日はよろしくお願いします。通所リハビリで働くことになったきっかけは？

早坂　介護の領域の事は知っていました。ただ仕事として選ぶほど興味があった訳じゃないんです。でも、「無資格でもOK、短時間、元気なシニアを募集！」というポスティングを見て、まず働いてみようと思ったのがキッカケです。もう丸4年になりました（笑）

委員　働いてみて、驚いた事などありますか？

早坂　職員の皆さんが、利用者のちょっとした動きに素早く対応している様子を見た時、「後ろにも目があるんじゃないか…？」と驚きました。

委員　それはすごいですね！では、勤めて良かったことはありますか？

早坂　母親がアルツハイマー型認知症と診断され、相談できる職員もいるし、仕事の経験から慌てたり悲観する事無く暮らせています。親孝行できているなぁと（笑）。

委員　もしこの仕事をしていなければ違っていましたか？

早坂　そう思います。母の様子を受け入れられてなかったかもしれません。

委員　同じサービスとして働いている我々も嬉しいです。早坂さんが心がけていることなどありますか？

早坂　私はあくまで主婦としての目線を忘れない様にしています。

委員　最後に、意気込みや展望などあれば聞かせてください。

早坂　介護助手の仕事は、決められたことをやるというある意味わかりやすく、経験が無くてもやりやすいと思っています。そしてそれがせんだんの丘通所リハの役に立っていると思えることはとてもやりがいを感じます。専門職の皆さんは専門職にしかできない事で活躍していただきたいですし。
利用者が卒業して会えなくなることは寂しく感じる事もありますが、利用者にとって、姪っ子や従妹のような存在で気軽にお願いしてもらえるようになりたいです。そして長く働いていきたいと思っています。

委員　早坂さん、とってもいい話を聞かせてくださってありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

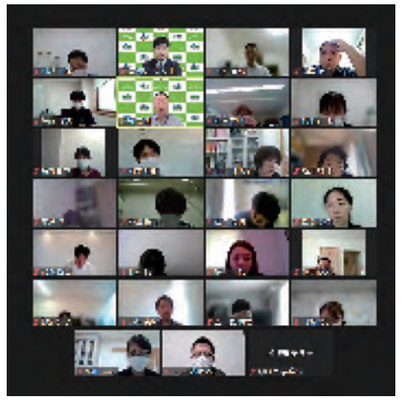
だれでも気楽に働ける場所としてせんだんの丘を選び、やりがいを感じながら自分らしく働いている早坂さん。きっと全国にこのようなスタッフがいるのではないでしょうか。今後も通所リハで働くプロフェッショナルを紹介していきます。

TOPICS

EXPERT GENERALIST COURSE

在宅リハビリテーション エキスパート・ジェネラリストコース

令和5年度在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコースが8月4日に開講しました。今回は23名の受講者とともに、全4クール（36講義）の内容を学んでまいります。これまでオンライン開催のみでしたが、今回は最終クールに集合開催を企画しています。これから一緒にエキスパート・ジェネラリストを目指しながら、横のつながりを深めつつ研鑽を続けていきましょう。



【在宅リハEGコース専用ページ】
https://day-care.jp/kenshu-eg

認定デイ・ケアマスターの声

Master's Voice

野﨑 隆司（理学療法士）
医療法人社団 三友会 いしかわ内科

私は認定デイ・ケアマスターを修得し、生活行為向上リハビリテーション研修会、在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコースの受講を修了しています。これらのコースを受講した事で「最高のチームづくり」に大きく近づくことが出来ました。現在私はデイケア主任の仕事を主として訪問リハビリの管理運営、法人内セラピストをまとめる業務に従事していますが、正直皆の手助けのお陰で業務を行う事が出来ています。

日常業務ではリハビリ会議等を含め常に多職種の方と連携をとります。皆さん専門的知識も十分あり私よりも経験豊富で信頼できる方ばかりです。しかし、どれだけ専門的知識が深い方でも不得意な分野があります。その人の不得意な分野を皆でカバーし補い合える事が「チーム」として最大のパフォーマンスを引き出す上で大切であると日々感じていました。そして素晴らしいチームであるほど全ての業務が良い方向に向かう事を実感していました。

「チームづくり」では一歩前に踏み出しチームを「形作る人」が必要となります。また形作るだけではなく、「チームの要」としてリードしていく為にはデイケアについて各分野の専門的知識を十分に理解し、多職種から安心・信頼して仕事を任せて頂ける様になる必要性があると考え認定デイ・ケアマスターの修得を目指しました。

修得後はデイケアに関する加算等を含め理解を増やし様々な会議の中で助言が出来る様になりました。助言まで出来る様になった理由としては、認定デイ・ケアマスターになる要件として各種研修会への参加や学会発表を行った事も大きな要因であると思います。

認定デイ・ケアマスターになるまでの研修を通じて同じ様な立場で悩んでいる多数の方と対面しました。顔見知りの関係性を築き上げた事もこれ以上にない経験となり、チーム作りの中での良いスパイスとなりました。今後も様々な刺激を受けていきながら私達は「最高のチーム」を目指していきます。

最後に私達は日本で一番「あなたに寄り添う」デイケアになれる様に成長していきます。皆さんも認定デイ・ケアマスターを修得し共に成長していきましょう。

会員施設自己紹介

医療法人社団北樹会病院
つきさっぷ通所リハビリ
〒062-0025 北海道札幌市豊平区月寒西5条8丁目4番32

沿革・施設概要

医療法人社団北樹会病院は「この地域で高齢者の健康を守ります」という理念を掲げ平成元年3月1日に札幌市豊平区月寒西に設立し、「つきさっぷ通所リハビリ」はその併設施設として平成12年4月1日に開設しました。

当院は入院機能だけでなく在宅生活支援にも力を注ぎ、介護保険制度の開始とともに様々な在宅介護サービス事業を展開し、現在では地域のニーズに合わせた10のサービスを備えています。

その中でも、通所リハビリは訪問リハビリとともに当院の「回復期から在宅生活支援まで、総合的なリハビリテーションを実践する」という方針の重要な役割を果たすため、在宅部門のリハビリスタッフが入院時の初回カンファレンスや家庭訪問に参加・同行しています。退院後シームレスな連携を図り患者様の退院後から在宅生活が安定するまでの中間的な役割を担えるよう、「自立支援」を重視し医師2名・リハビリスタッフ12名（PT9名・OT1名・ST2名）・看護師2名・ケアスタッフ5名の人員配置で協働し、様々な視点を持ちサービス提供する事を目指しています。

通所リハビリテーションでの取り組み

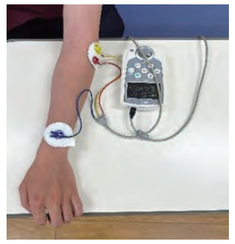
当事業所では、利用者様やご家族様のニーズに応じ2-3時間・6-7時間の2形態でサービスを提供しています。

当事業所の取り組みとして、利用者様の居宅に訪問しリハビリテーション会議を開催しています。実環境での活動評価はもちろん、ご家族様・ケアマネジャー・サービス担当者と生活の場で生活課題や目標の共有を行うことで、通所におけるリハビリテーションや趣味活動等の提供・医学的管理も個々人の状態や目標に応じたものとなり、活動・参加に根ざしたサービス提供に近付くと考えています。

法人内外の在宅サービス事業所とも連携し、必要性に応じ他サービスの導入や移行（卒業）も提案させて頂いています。

又、全要介護利用者様に対しリハビリテーションマネジメント加算Bを算定し、医師も参加したリハビリテーションの計画作成・実施により目標達成を支援しています。

併設している北樹会病院では令和4年11月にリハビリテーションセンターを新たに増築し、多数のリハビリテーション機器を導入しました。通所リハビリにおいても身体状況や生活課題に応じて必要な機器を用いたリハビリテーション提供が可能であり、主に自主練習時間の増加や意欲向上を図る事が出来ているとのお声を頂いています。



おわりに

これからも「この地域で高齢者の健康を守る」法人理念に基づき、その人らしい生活を地域で継続して頂ける様な生活支援を継続したいと考えています。

本コーナーにて「ぜひ私の施設を紹介したい！」という会員様は、事務局までご連絡をください。

一般社団法人 全国デイ・ケア協会

当会の前身である、全国老人デイ・ケア連絡協議会は1994（平成6）年、老健のデイケアや病院・診療所のデイケア等、全国様々あるデイケアを提供する施設の有志が集まり、情報の共有化・職員の研修・研鑽の機会提供等を目的として開設し、これまで活動を続けてまいりました。

現在当会は介護報酬改定における通所リハビリテーションの窓口を担い、報酬改定時においてはリハビリテーションマネジメントと通所リハビリテーションの意義を問い、加算として位置づけ、質に関わる根幹を表現してまいりました。

また、重度者に対してもより手厚いケアが提供できるサービスとして、地域でのリハビリテーション資源として重要であることを明確にしてまいりました。生活行為向上リハビリテーションの普及については特に、厚生労働省および各種団体との連携役とし、研修や企画に参画し現在に至ります。

これも一重に、会員施設の皆様から頂いた多くのご意見や、ご協力の賜物でございます。

ついては、今後一層地域でのデイ・ケアの役割を全うするために、協会としてより多くの「声」を賜りたく、皆様のお力をお貸しください。

より一層、通所リハビリテーションが地域に必要とされ地域生活の中核を担うサービスとなるために、今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

会員特典

Join Us

● 当会主催研修会、研究大会を会員価格にて参加可能

・全国デイ・ケア研究大会、リハビリテーション・ケア合同研究大会　・主催研修会

※オンライン開催の研修会も多数企画していきます

●「デイケアニュース」の定期発送

・年2～3回発行しております。

各種研修会情報、協会の活動報告、トピックス、会員施設紹介などご提供しています。

● 制度関連や現場で困っていること等の問い合わせが可能

・原則、会員様のみご対応させていただいています。

● 会員ページの閲覧が可能

・各種資料のダウンロード、研究大会抄録集、当会実施アンケート結果などの閲覧が可能です。
今後さらなるリニューアルを検討しています。

● 会員への定期的なメール配信

・研修会案内

・制度関連情報　等

※正会員（事業所）の職員は全員上記特典の対象となります。

一般社団法人　全国デイ・ケア協会　事務局

住所：〒101-0047　東京都千代田区内神田2-4-2　一広グローバルビル5階

TEL：03（5207）2710　FAX：03（5207）2711

E-mail：info@day-care.jp　URL：www.day-care.jp

編集後記

今号では、全国デイ・ケア研究大会2023in八王子の報告を中心に、デイ・ケアに関わる職員のインタビューや研修報告を掲載しております。私自身、デイ・ケア研究大会に参加して参りました。利用者さんの支援に於いても「顔の見える関係づくりが必要」と常々言われていますが、実際に、会って、顔を見て話す、情報交換をすることが、こんなにも良いものであることを改めて実感する機会となりました。デイ・ケアには「多職種」が配置されています。職員同士のコミュニケーションに於いて「一方的」に「伝える、聞く」だけでは不十分で、相手の考え方、社会的背景、職業観などに配慮することが大切であると感じます。そうすることで、気持ちの良いやりとりができ、最終的には、利用者さんへの支援に繋がっていくと思います。

岩渕 隆俊（全国デイ・ケア協会　広報委員会）
介護老人保健施設せんだんの丘

デイケアニュース20号　2023年9月発行　編集／発行　一般社団法人 全国デイ・ケア協会